

平成30年7月豪雨から5年

防災に

ついて考えよう。

いつ、どこにでも起こる可能性のある災害。
日頃から行政や地域、個人それぞれが災害への対応力を高めておくことで、
防災・減災の効果が高まります。
一人ひとりが役割を理解し、日常的に災害へ備えることを心掛けましょう。

わかるかわる 岡山市

動画を中心とした情報発信プロジェクト
「わかる かわる 岡山市」連動企画

2022年11月にスタートした「わかるかわる岡山市」。
この紙面企画では、
岡山市の取り組みを分かりやすく紹介します。

岡山市広報広聴課 TEL 086-803-1024



ワカルくん



カワル先生

国や地方公共団体などが取り組む 公助

物資の備蓄や、浸水被害を防ぐインフラ整備などを行っています

必要な
物資を速やかに
避難所へ届ける!

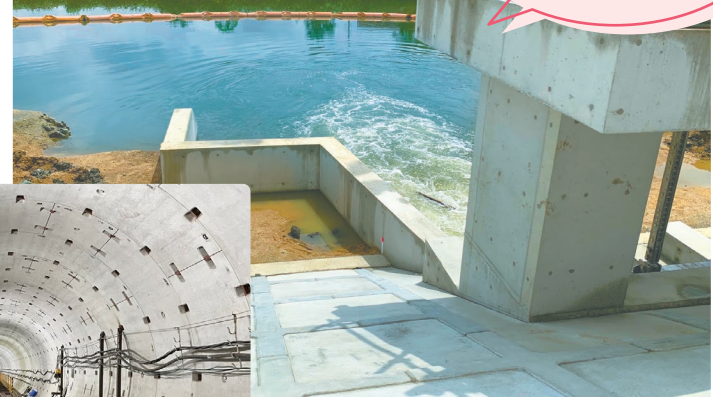


集中備蓄倉庫

市が開設する小中学校などの避難所へは、分散備蓄として、食料などの直ちに必要な物資を配備しています。さらに災害時には、テントや簡易ベッドなどの環境整備用品を中心に保管する集中備蓄倉庫からも、開設避難所へ必要な物資を配送します。
また浸水対策として、岡山市では平成30年7月豪雨や平成23年の台風12号により、大規模な浸水被害が発生した地域などを中心に下水道施設を整備しています。今保・白石地区では2カ所の雨水ポンプ場、浦安11号幹線では雨水管の整備を進めています。

浸水被害を防ぐ!

1時間に25mプール
約45杯分の水を
排出できる!



岡山市北区今保 雨水ポンプ場
令和5年6月14日～通水開始



浦安11号幹線(雨水管)
令和6年度末暫定使用

全長3.7Kmの
地下トンネルに
約4万1000㎡の雨水を
貯められる。

地域や身近にいる人が 一緒に取り組む

共助

自主防災組織の活動に
参加しましょう

自主防災組織とは、町内会単位などで地域の皆さんで協力して、自主的な防災活動を行う組織です。平時には、災害に備えた地域の体制づくりに取り組み、いざ災害が起こった時には、地域の皆さんが力を合わせて避難誘導や避難所の運営などを行います。日頃から地域の自主防災活動に積極的に参加しましょう。

自主防災活動についてお問い合わせはこちらまで

岡山市危機管理室 TEL 086-803-1082



救命救急の講習を実施中。



逃げてくれ
ゼロに!
高齢者や障害者などの要支援者の
避難訓練を実施しているところ。

一人ひとりが 自ら取り組む

自助



家の外、家の中の備えを
確認しましょう

大雨や風が強くなる前に、側溝や排水溝は掃除し、風で飛ばされそうな物は固定または屋内へ格納。非常用品や食料、飲料水や生活用水の用意も確認を。各家庭の状況にあった準備が必要です。詳しくは岡山市防災マニュアルをチェック!



いざという時のために
事前に話し合っておこう

自宅やその周辺の災害リスクを岡山市のハザードマップなどで確認。災害の恐れが高まった際にどう避難するかなどを事前に話し合っておきましょう。

土砂災害は特に早めの避難を

お住まいの地域が土砂災害警戒区域に入っている場合、早めの避難を心掛けてください。

WEB版ハザードマップを活用しよう

現在地周辺のハザード状況や避難所へのルートが確認できます。



ご家族と、地域の皆様と…災害への備えを考えましょう。

おかやま
まなぼうさい
学BOSAI
2023

日時 令和5年7月2日(日)
10:00~17:00

場所 イオンモール岡山1階
未来スクエア

主催: 岡山市
お問い合わせ: 危機管理室 086-803-1082

<詳しくはこちら>
イベントの詳細、当日の開催状況などは
岡山市役所のホームページよりご確認ください。



参加
無料



vol.4 動画公開中!

“わからないを「わかる」に
岡山市が「かわる」”

わかるかわる岡山市

